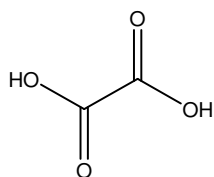
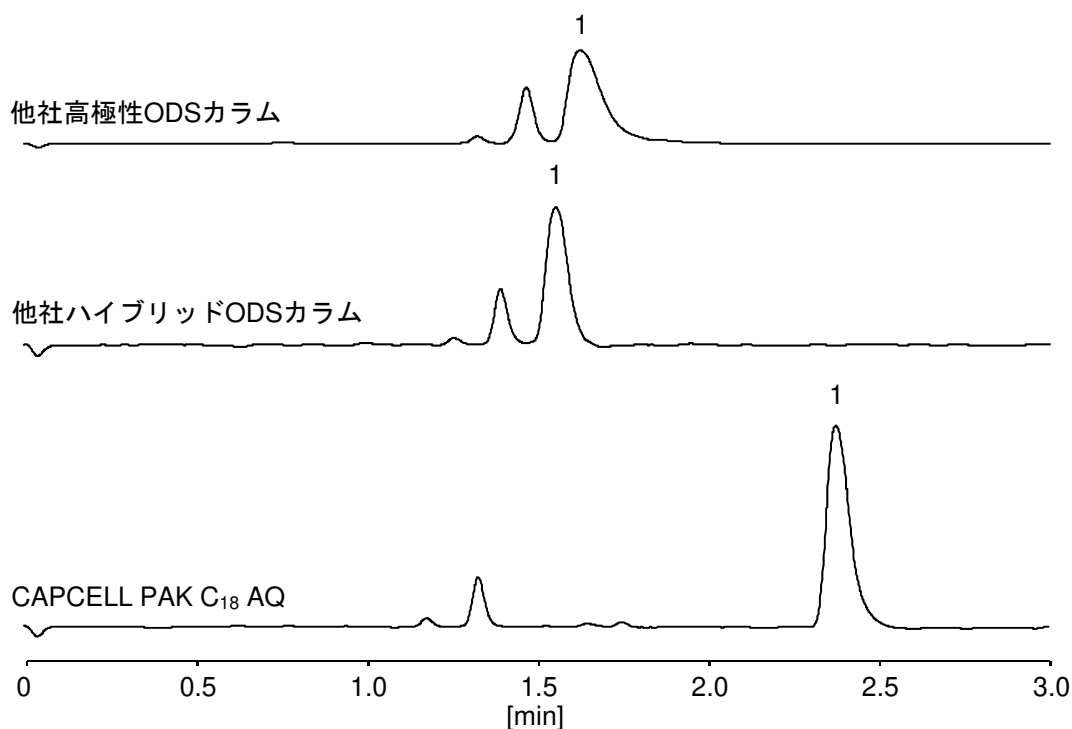


シュウ酸はアクの成分と言われ、タケノコやコンニャク芋、ホウレンソウなどに多く含まれている有機酸であり、最も単純なジカルボン酸です。非常に極性が高く、逆相カラムでは保持させることが困難です。ここでは、充填剤表面に特殊なポリマーコーティングを施したCAPCELL PAK C₁₈ AQ S5 (4.6 mm i.d. x 150 mm) を用いた分析例を示します。他社 ODS カラムと比較して、大きな保持が得られています。



1. シュウ酸 (200 µg/mL)
Oxalic acid (M.W. 90.0)



【HPLC Conditions】

Column size : S5 ; 4.6 mm i.d. x 150 mm
 Mobile phase : 0.5 vol% HCOOH / CH₃CN = 98 / 2
 Flow rate : 1 mL/min
 Temperature : 40 °C
 Detector : NQAD (Evaporation 35 °C, Nebulizer 30 °C)
 Inj. vol. : 5 µL
 Sample dissolved in : H₂O
 ※ 1 µg/mL = 1 ppm